

特 71

962

版 三

井

大洲鐵然師題字

真宗少年教會

法之道イロハ唱歌

沙門多田道然述

301505-001-0

特71-962

法之道イロハ唱歌

多田道然著

M27.2

CEH-0001



特 71

962

版 三

(非賣品)

大洲鐵然師題字
真宗少年教會

法道不異唱歎

沙門多田道然述

● 題号目次

い、生者必滅ろ、南無阿弥陀佛
 は、獨死獨去に、弥陀釋迦
 ほ、業感不免へ、念佛除罪と、六根體一ち、同一念佛り、名聞利用
 ぬ、他力回向る、五趣生死を、不斷而斷わ、心理開悟か、三願轉入
 よ、信教自由た、爲得大利れ、會則大意そ、本會教主つ、無明長夜
 ぬ、常行大悲な、一字千金ら、唯我獨尊む、弘願他力う、自業自得
 ぬ、因果業感の、目下現場れ、大乘究竟く、忻淨厭穢や、内外不調
 ま、變女男子け、無根立花ふ、身色金體こ、老少不常に、長生不死
 て、孝道全德あ、久遠實成さ、斷惑證理き、莊嚴功德ゆ、万法唯心
 め、常樂我淨み、父母憂病也、眞俗相資ゑ、我慢不利ひ、佛恩報謝
 も、人界水分せ、二世良善す、會所寺名

特71
962

(寫)

山口縣赤間關市

平年等會
少稚婦人會

御本尊 壹幅

右被授與候也

明治二十六年四月廿七日 本山執行所

今般御本山ヨリ特別之思召ヲ以テ各會同へ別記ノ通御下附栢成本會ニ光榮ヲ蒙リ候
 但幼稚ハ進徳婦人教會ト改名ス

教法寺三教會主

多田道然

五
流



心 九

心 九 敬 於 宗



赤間關市眞宗少年教會

●現世

法の道イロハ唱歌 ○未來

●生者必滅

いの字とや 今と古はかわれども、

あわらぬ者ハ死出のさび、

○南無阿彌陀佛

ろの字とや 六字のいわれを信じあは、

あゝの志き、浄土へゆくぞうし、

●獨死獨去

はの字とや 母ハ、此世ニあればとて、

死出は、さびじの、唯だひ空り、

○ 弥陀釋迦

にの字とや 二尊の教るに、志すがへば、三世の諸佛よ、守らる、

○ 業憾不免

ほの字とや ほしいと、よくいと、はらだちが、地獄よ、をちる、さねとある、

○ 念佛除罪 未来

への字とや へんじも、いぬく、各号の、いひきを、信じて、罪をけせ、

● 六根體

との字とや とふとい、家でも、貧家でも、死ぬるは、いづきも、皆お同じ、

○ 同一念佛

ちの字とや ちのみの、正き各号を、信じて、はいるわ、さあさあど、

● 名聞利用

りの字とや りくつ、をほらて、しまんして、大事の、はことを、みあたらぬ、

● 他力回向

ぬの字とや ぬしの阿彌陀よ、またがへば、
信へ、回向で、くださるる

○五趣生死

るの字とや 流轉、輪廻の、罪とがへ、
三千、世界よ、あを、をもし、

○不斷而斷

を此字やや 御慈悲の、名号、信ずれば、
いほしめ、罪とがきあるあり、

○心理開悟

わの字とや わからぬ、遊びをするよりも、

少年會ひ、いるがよい、

○三願轉入

かの字とや 果遂の、ちかいの、其の、けを、
聞き得て、真如の、門よ、ひき、

●信教自由

よの字とや よその宗旨は、小兒でも、
歸すれば、入會い、ゆるすべし、

●爲得大利

たの字とや ことへ、おとあき、廣大の、
功德を、もろとて、佛にあき、

●會則大意

れの字とや 禮義、作法や、其の外の、

よい事と、をほへて、法を聞く、

●本會教主

ろの字とや そも、ろも、此の會い、

主意あるわ、眞俗二諦の、教法を、

●無明長夜

つの字とや 常は、わがまま、遊びして、

法を、聞かずば、地獄ゆき、

●常行大悲

ねの字とや ねても、とさても、遊でも、

とをきてあらぬは、弥陀の恩、

●一字千金

あの字とや からゑや、まあべや、勉強せよ、

小兒の時こそ、大事あり、

●唯我獨尊

らの字とや らあんや、菩薩や、其の上は、

諸佛も、及ばぬ、身よあれと、

○弘願他力

むの字とや 無間地獄を、ちる身が、

阿弥陀、は大悲で、佛とある、

○自業自得

うは字とや 憂や、歡をこるのハ、

此き、みな、其の身は、心あら、

●因果業感

おは字とや 因果業感、をうろしや、

いづれの、人でも、はがきぬぞ、

●目下現場

のの字とや 野邊の、送りよ、立ちし身も、

いつまか、其の身を、送らるる、

●大乘究竟

その字とや 教へも、あまた、數あれど、

弘願の、他力は、真宗ぞ、

●忻淨厭穢

くの字とや 苦界は、しやばと、さとるはも、

此れみふ、阿弥陀の、御慈悲ぞや、

●内外不調

やの字とや やと志き、女の、すがたでも、

心ろハ、たいじやよ、なとあふる、

○變女男子

まの字とや まことの信樂を、忍し人わ、

女も、轉じて、佛とある、

●無根立花

けの字とや けまよきをや、以しよきて、

かざるとも、死にれば、野邊の灰となる、

○身色金鉢

ふの字とや 不思議の本願ん、信ずまば、

未來わ、黄金の體とある、

●老少不常

この字とや 小兒と、ゆうて、ゆだんすか、

無常の、嵐わ、のがれぬぞ、

○長生不死

はの字とや 回向て、信樂も、らいあば、

不死の、淨土へ、生るるぞ、

●孝道全徳

ての字とや てて 親、母親、うやもをて、

法を、たすむが、孝行ぞ、

○久遠實成

あの字とや 阿彌陀と、申を、如來こそ、

諸佛に、まごり志、ほせけぞや、

● 斷惑證理

この字とや さきつる花と、見うぢも、
不意の嵐に、ちよみける、

○ 莊嚴功德

きの字とや 器世間、清淨功德とは、
安樂佛士の、莊嚴んぞ

● 万法唯心

ゆの字とや 夢めえる、うちわ、夢あさと、
知らねど、さめてわ、さとるあり、

● 常樂我淨



めの字とや めさす、淨土よ、うまるれば、

常樂、我淨と、このしむぞ、

● 父母憂病

みは字とや 身をば、大事よ、氣をつけと、
ふたりの、親への、孝行ぞ、

● 眞俗相資

しの字とや 眞實信心、急志う急ハ、
王法爲本と、わはるるあ、

● 我慢不利

急の字とや 急らがり、たかぶと、じほんせあ、

必ず世間でにくまるる、

●佛恩報謝

ひの字とや 日日家業勉強志て、報謝の、

念佛、わすれあよ、

●人界本分

もの字とや 元より、此の世に、居る、

内ハ、忠孝二つと、しとめら志、

●二世良善

せの字とや 世間は法よ、出世間、

二諦の、教へハ真宗ぞ、

●會所寺名

すの字とや せずりは、海を前へみ、見る、

教法の、名のつく、寺の會、

三教會用出版費寄附金
 一 金拾圓也 盡力者
 致法寺廿四日講女同行中

金壹圓五拾錢	中尾 太助氏母
金壹圓貳拾錢	芳岡 六左衛門氏母
金壹圓貳拾錢	御喜 右衛門氏母
金壹圓	下野 甚四郎氏母
金壹圓	長沼 作二郎氏
金壹圓	園山 半平氏
金壹圓	本野 伊兵衛氏
金壹圓	宇野 伊兵衛氏
金壹圓	福井 又吉氏
金壹圓	中土 井吉氏內
金壹圓	高石 和吉氏
金七拾錢	福本 安一郎氏
金七拾錢	大田 重左衛門氏
金七拾錢	節野 利吉氏
金七拾錢	白井 又兵衛氏
金七拾錢	小林 茂吉氏
金五拾錢	津田 光藏氏
金五拾錢	和田 光藏氏
金五拾錢	河崎 伊平氏
金五拾錢	尾崎 喜平氏
金四拾錢	山岡 芳造氏

金四拾錢	立脇 廣吉氏
金四拾錢	立脇 宗吉氏
金四拾錢	百合 元吉氏
金四拾錢	家吉 三郎氏
金四拾錢	弘中 市右衛門氏
金三拾錢	上野 清次氏
金三拾錢	益田 清太郎氏
金三拾錢	上野 學太郎氏
金貳拾錢	平等會事務員
盡力者	下野 甚四郎氏
	本野 久藏氏
	節野 常吉氏
	福井 作藏氏

三教會用圖書費寄附

金壹圓	和田 昌氏	河崎 伊平氏
金壹圓	小松 昌氏	河崎 伊平氏
金壹圓	梶山 昌氏	前田 伊平氏
金壹圓	永積 昌氏	中尾 伊平氏
金壹圓	大賀 昌氏	尾崎 伊平氏
金壹圓	芳岡 昌氏	秋本 伊平氏
金壹圓	藤城 昌氏	豐野 伊平氏

明治廿六年三月十日印刷
 明治廿六年三月十一日出版
 明治廿六年四月三十日再版
 明治廿七年二月一日三版

著者兼發行者 多田道然
 山口縣長門國赤間關市西端町
 第六百七拾八番地平民

印刷者 船越眞郷
 山口縣長門國赤間關市竹崎町
 第貳百拾六番地土族

印刷所 赤間關印刷株式會社
 山口縣長門國赤間關市西端町第廿八番地

◎會日廣告

◎少年教會

………
〔每前八時

◎平等教會

………
〔每后七時

◎進德婦人教會

………
〔每后一時

赤間關教法寺三教會

會主 多田道然

● 題号目次

い、生者必滅ろ、南無阿弥陀佛
 は、獨死獨去に、弥陀釋迦
 ほ、業感不免へ、念佛除罪と、六根體一ち、同一念佛り、名聞利用
 む、他力回向る、五趣生死を、不斷而斷わ、心理開悟か、三願轉入
 よ、信教自由た、爲得大利れ、會則大意そ、本會教主つ、無明長夜
 な、常行大悲な、一字千金ら、唯我獨尊む、弘願他力う、自業自得
 か、因果業感の、目下現場れ、大乘究竟く、忻淨厭穢や、内外不調
 ま、變女男子け、無根立花ふ、身色金體こ、老少不常に、長生不死
 て、孝道全徳あ、久遠實成さ、斷惑證理き、莊嚴功德ゆ、万法唯心
 め、常樂我淨み、父母憂病も、眞俗相資る、我慢不利ひ、佛恩報謝
 も、人界水分せ、二世良善す、會所寺名

特刊 962

寫

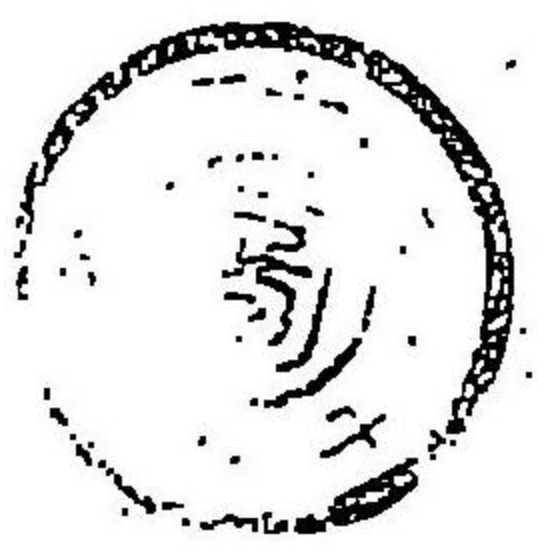
山口縣赤間關市

平等會
幼年會
幼稚婦人會

御本尊 壹幅

右被授與候也

明治二十六年四月廿七日 本山執行所



今般御本山ヨリ特別之恩召ヲ以テ各會同へ別記ノ通御下附相成本會ニ光榮ヲ蒙リ候

但幼稚ハ進徳婦人教會ト改名ス

教法寺三教會主

多田道然